

6月の掲示版より

「虹って何色？」

「紫陽花」

「折ってチョッキンの形」

「虹って何色？」日本では、虹は七色と言われることがありますが、国や文化によって何色かちがいます。また、虹は太陽の白い光が分かれてできたもので、色の間にはっきりとした境界線があるわけではなく、さまざまな色をふくんでいます。このことから、虹色（レインボーカラー）の旗は、「多様性」「共存」のシンボルとして用いられていて、「平和の旗」にも用いられている色の組み合わせです。国や文化によって、「橋」「竜」「弓」などにたとえられます。



※和菓子は、季節の花などをかたどっているものが多いです。三つとも、紫陽花をイメージしています。



「紫陽花」梅雨の季節を彩るあじさいが見頃です。さて、柏木小学校のあじさいは、どこにあるでしょうか？さがしてみてね。（ヒント：①大久保門 ②鉄ぼう）

紫陽花をイメージした和菓子



「折ってチョッキンの形」

- ① 紙を半分に折って、はさみで羽の形に切ると、羽は2枚になります。
- ② 「線対称（「対称の軸」で折り曲げると図形がピッタリ重なる）で2枚の羽を置いたら、広げた羽のようになりそうです。
- ③ 2枚の羽を「点対象（「対称の中心」で180°回転させたら元の図形と重なる）」にするには、どのように置いたらいいでしょう。
※6年生へ。今、算数で学習していることを生かして考えてみましょう。

「あじさい」の4枚の花びらをもったような花に見えるものは、「かく」です。この形も、4枚に折った紙を切ってつくりました。線対称にも点対象にもなっています。



葉は、紙を半分に折り、はさみで切りました。広げると、葉脈も含めて線対称になります。



今、新宿門横の掲示版にあります。